

がん検診に行っていますか？



国が推奨するがん検診の種類

厚生労働省では、がん検診の指針を定め、市区町村による科学的根拠に基づくがん検診を推進しています。

	検査項目	対象年齢	受診間隔
胃がん	問診に加え、胃部エックス線検査、または胃内視鏡検査	50歳以上 *当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 *当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
子宮頸がん	問診、視診、子宮頸部の細胞診、内診	20歳代	2年に1回
	問診、視診、子宮頸部の細胞診、内診	30歳以上 *市区町村で実施する検査項目をご確認ください。	2年に1回
	問診、視診、HPV 検査単独法		5年に1回 *罹患リスクが高い者については1年後に受診
肺がん	質問（問診）、胸部エックス線検査、喀痰細胞診	40歳以上 *喀痰細胞診については原則として50歳以上の重喫煙者（喫煙指数600以上の者）のみ	年1回
乳がん	質問（問診）、乳房エックス線検査（マンモグラフィ）*視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
大腸がん	問診、便潜血検査	40歳以上	年1回

受診方法

お住まいの市区町村では、健康増進法に基づいて、がん検診を実施しています。ほとんどの市区町村では、がん検診の費用の多くを公費で負担しており、一部の自己負担でがん検診を受けることができます。

なお、受診可能日、場所等はお住まいの市区町村へご確認ください。

住民検診

市区町村

対象者にがん検診の受診を勧めています



職域検診

事業者・保険者

対象者にがん検診の受診を勧めています
定期健康診断や特定健康診査等にごがん検診が付与されている場合もあります



その他のがん検診 (人間ドック)

個人

自分で医療機関を探して受診

